



リオ通信

聖州憲法議會の
去勢問題
聖市電報によると去日及六
月廿四日のイタ
共和国代議士アルフレド
エリス、ジユニオール氏及
エコ・イ・シルヴァの兩氏
は開入院論を提出したが、
加特力教代議士等の猛烈なる
反對を受けた。

聖州パンカーダ
の正副リーダー

略歷

ゴメス・新陸相

難物の鉢木政友會総裁も 遂に入會を承諾

各政派巨頭を網羅
各政派巨頭を裁も

外務省から派遣

第二回巡閱使

蘭印、シャム、アフガン諸國へ

露、防備強化頻り

印刷用の新活字

御注文下さい

聖州新報社

日本海沿岸へ

拓務省で移植

「民事業の研究

会議終了

召集せられた

各政派巨頭

交渉を受けた

各政派巨頭

交渉を受けた

各政派巨頭

交渉を受けた

悲壯！心魂を擱ぐる 島革命家の宣言

日本の正義に
絶大の信をおく

(東京七日) 比島革命家ベニーニョ・ラモス氏は四十名の内外新聞記者團に對し大

要次の如き意味の衝動的宣言を行つた

自分は今南米へ向けて歩くが、本体は文化と國語が相似であるが、自分は電報を以て旗上げの期日を

敗はマニラ貴族の巧妙な策謀の結果であるが、自分は電報を以て旗上げの期日を

志向へ報告して置いたところ比島當局が死名へ向てる前に奪取したゝめあゝ言ふ

結果になつたのであるが、この日本人の觀念にこその事は次の事を訴へる、即若し北米

人があらざる事が出来ないのだわれ等のモット

ものであるが、この日本人の觀念にこその事は次の事を訴へる、即若し北米

人が余を追放せんと欲するならば何の故を以て比律

賓から北米政府を追出す事が出來ないのだわれ等のモット

は東洋人のための東洋だ

から其の旨を當時に語つた

この同黨では田中義徳に

一任といふことを決定した

又一番難物の政友會に於ても

その交渉を以て先づ一段落

がついた

入會承諾の首相から入會

各政派巨頭の首相から入會

